

土木と学校教育フォーラム

四万十町立興津小学校
近森 幹夫

1、日々の実践で常に念頭においていること



- 実践の継続と斬新性
- 内容の深さ(大学や行政・地域との連携)
- 体験の大切さ(フィールドワークなど)
- 遊ぼうさいの心
- 新聞等の活用(資料収集)

さすが専門家は違う



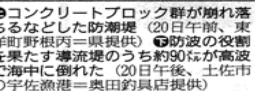
さすが専門家は違う



おいしいぼうさい



**砂防ダムの仕組みを知り、そのあと土石流の代わりの
こんぺいとうを食べました。心に残りました。**



この導流堤は防波目的で1971年から順次着工。通称「一文字」と呼ばれる、釣り人も多く使っている。耐用年数は50年だが、県の担当者は「設計を超える波の強さがかかったのではないか」としている。

また、高岡郡津野町

台風6号

2カ所 橋も落ちる

北川村
国道計300
ルネ
崩落

19日から20日未明にかけて、土佐沖をゆつくり東に進んだ台風6号。県内では一夜明けた20日、国道の崩落や堤防の損壊、土石流の発生など新たな爪痕が次々に確認され、県などが復旧作業に入っている。

（本紙取材班） 7面に關連記事

安芸郡北川村では20
 日朝、国道橋が2カ
 所で道路陥没、の奈平
 川に崩落しているのが
 判明。村などによる
 と、養蚕に没れた人や
 車はないといふ。
 県安芸土木事務所な
 りによると、崩落した
 のは同村小島地区の北
 半川川に注ぐ小川に
 つて右流が起き、
 川に落ちた約6びのの
 を含めて、国道が長さ
 200びにわたって崩落。
 200び上流に住む女
 (48才)など、19日
 後6時ごろ、それ
 以外の地帯が閉こら
 ったといふ。

東洋町でも堤防損壊

宇佐漁港 導流堤切れる

[illegible]

ある導
に倒れ
が破損
、基礎
がクラ
れる

一方、19日に自転車道とともに決壊、崩落していたのが見つかった。安芸市六内甲の防湖堤は、崩落範囲が前日から100倍余り広がった。約100倍に、約100倍に。

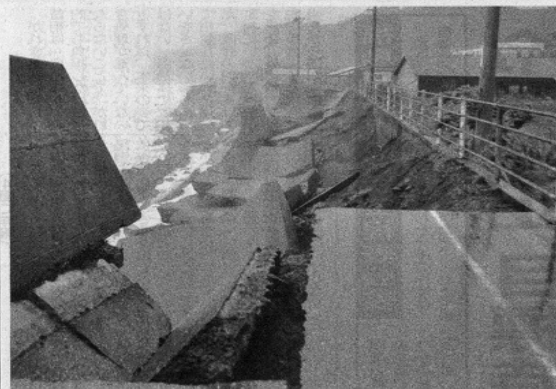
[illegible]

県内

台風6号 魚梁瀬 1142ミ

四万十市で1人不明

大型で強い台風6号は18日、本県全域を風速25以上の暴風域に巻き込みながら土佐沖を西から東に進み、同日夜から20日未明にかけ、県東部沖を通過。四万十市で男性1人が行方不明になるなど人的被害が出ているほか、防衛堤の決壊や土砂崩れなども相次いだ。(本紙取材班) 20 23番に関連記事



安芸で防潮堤決壊

中郷にある、19
日午三時四十分、
安芸市八幡町で防犯
監視カメラが故障し
四万七千六百四十
円を失った。この
川原から出る大橋
の下の道で、無人の軽
トラックを乗員が見
え、持ち主の高崎高富
が84回同右山元
町が八百四十四年
であり、岡田信輔に
てい川原の様子を見
に来た、川流されて
ではないかとの捜
索している。

井原町の町丁左
市では女性と分産腐
にあられて倒れる
のを食った、それ
を食った、それを

(19)日午前四時40分、安芸市中内甲

このほく県内は、
安芸市六甲町で防犯
監視カメラが故障し
六万四千七百六十
円の漁釣の怪案
出雲路村の斜面が
崩壊して、各地で
異なる対策案本報

また、安芸市佐
田村で遊歩道を
閉鎖され、自車
停止、午後五時
現在、26市町村の
増大が避難し

台風は昨日午後
現在、香川沖に近
連動して北風に



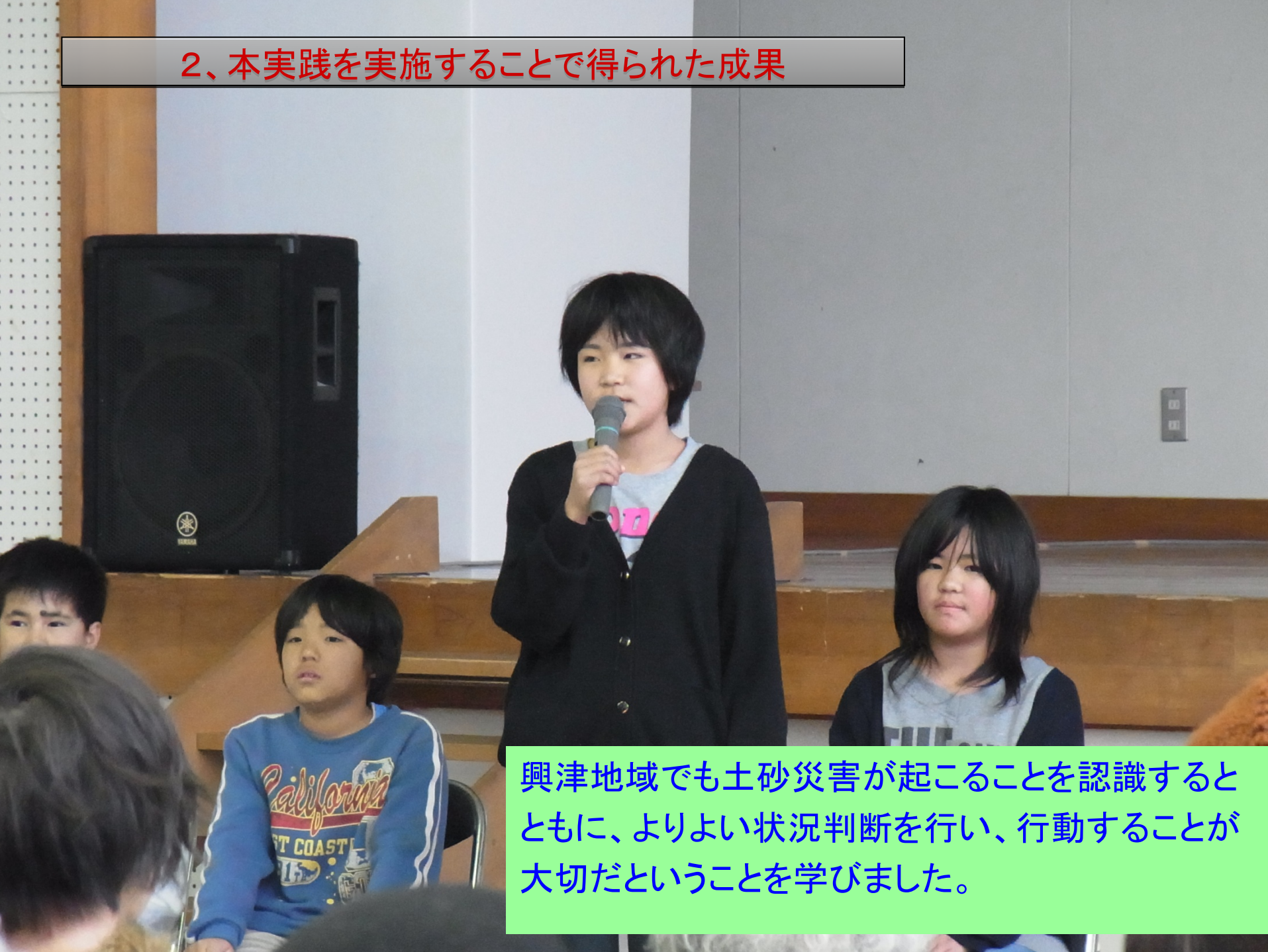
いる。中心気圧は960hPa、中心付近の最大風速は40m/s。最大瞬間風速は55m/sで、中心から東偏190°と西偏110°の2内が暴風域になっている。県内では台風接近

続き、24時間雨風不安
 断続的に強い雨が降
 都馬路村(嵯峨瀬湖)
 町、高麗津野田
 町651、安芸高松
 野町05、宿市
 332・5など、いつも
 魚類史上最大を記録
 瀬田湖で19日午後
 時17分までの1時に
 ・5の非特化に激
 い雨が降り、7月1
 から19日後9時ま
 の総雨量は114・
 5の平均雨量5
 量で、7月の月間
 大きな回った
 高知市安芸台と上
 まで、量は20日後
 まてに紀平島付近
 通過する込み。
 本県沿岸の海上波
 の高さが増える
 弱くなり、なごめ
 け、同気象はつづ
 を伴った波がな
 警戒を引続き呼
 けている。

1日の雨量国内
最多851ミリ



2、本実践を実施することで得られた成果



興津地域でも土砂災害が起こることを認識するとともに、よりよい状況判断を行い、行動することが大切だということを学びました。

3、実践を進める上で感じた困難性



取り組みが始まった1年目は、事前に授業の流れは分かっていましたが、前日最終打ち合わせ、次の日授業だったので戸惑いがありました。慣れてくると、戸惑いは少なくなりましたが、土木の専門家や実践家と学校の連携教育を進める上で、田舎は都会にいるよりは厳しい状況にあると考える。

4、土木の専門家及び実践者への要望



- 大雨注意報・大雨警報・土砂災害警戒警情報が出る雨量を児童が理解する教材があればうれしい。
- 今回使用したり、今後使用する教材の入手法を知りたい。
- 今回行ったような授業を展開したいと考えるのだが、県内または近県で土木の専門家及び実践家の講師をさがせるだろうか。